

梅花新聞

第3号
発行日
平成30年3月15日
発行者
近畿大学附属広島
高等学校・中学校福山校
新聞部

今年度第3号は盛りだくさん！

今号は、さまざまなチャレンジをした、実にアグレッシブな紙面です！ 内容をかいつまんで紹介すると、まず1・2面では校長先生へのインタビューとコラム、そして新聞部が参加した他校との交流会のことを、3面では文化祭アンケートの集計結果と福山グルメレポートを、4面では私のおすすめ（車編）と編集後記を掲載しています。

中でも注目は、校長先生インタビューです！ 普段聞くことがない校長先生のいろんなお話をお楽しみに。また文化祭アンケートも、次の参考になればいいと思います。そして、「こらむ」やレポートなど新聞らしい記事も書いてみました。（これが挑戦の部分）ぜひお読みください。

毎月の全校朝礼や式などでステージに立たれてお話をされる校長先生ですが、プライベートなことについてお話しされることはほぼないと思います。でも、校長先生ってどんな仕事をされているの？ どんな生徒だったんだろ？ などって気になりませんか？ そこで新聞部では校長先生について深く知るべくインタビューをお願ひし、いろんなお話を聞かせていただきました。



校長先生インタビュー

大阪府出身の小西健二校長先生。担当教科は英語。子供のころは勉強も普通で、よく学校から帰っても近所の子と夕方暗くなるまで遊んでいたといひます。小学生の頃の夢は、当時男の子のあこがれであった野球選手。中学・高校の時の部活はESS（英語同好会）に入っていて、「学生時代から英語が得意で好きだった」そうです。ちなみに苦手だった教科は化学だったとのこと。そこで質問！ 苦手科目について克服する方法は？

勉強なら何でもそうだけども、原点に戻ることが大事だと思ひます。例えば高校1年生で

つまずいたとすれば、もう一度中学校の時に勉強したことを見直したりして、自分がわからなくなつた所・単元を見つけてそこをわかるまで突き詰めて『わからないところをわからないままにしないこと』が大切だと思ひます。

中学・高校での思い出は？

一番の思い出は修学旅行や文化祭など学校行事。修学旅行は九州でした。大阪からサンフラワーという船に乗り瀬戸内海を通つて別府まで行き阿蘇へ天草を通つて長崎の方まで行つて夜行の急行列車に乗つて大阪に帰る長旅でした。今までで一番印象に残つてゐる先生は？

中学一年生の時の担任の先生。その先生は英語科の先生で、英語が得意になつたきっかけとなつた先生なんです。次に先生になつて一番嬉しかったことは？

先日、平昌五輪が開催された。五輪とは政治的・思想的な関係を離れて、アスリートが各競技をスポーツマンシップのもとに競ひ、力を発揮することに楽しみがある。しかし、過去を見るとそうはいかないことがしばしばある。例えば、モスクワ五輪やロサンゼルス五輪でのボイコットだ。米ソ冷戦の影響がそこにはあった。そして、平昌。開催前から北朝鮮と韓国が統一チームを組み、「コリア」として参加することが連日大きく報道され、そこには北朝鮮の何かしらの意図があるのではないかという憶測が飛んだ。実際に韓国内や他の諸国からも、批判的な意見があつたようだ。北朝鮮の選手の参加で出場機会を失う韓国選手や、対立的な姿勢が否めない平常を考えると抵抗感があるのも仕方ないのか。背景はともあれ、人と人が接することで交流が生まれるのも、また事実。選手、大会関係者、運営ボランティア、付近の住民との温かな交流が政治的緊張を緩和する原動力になりはしまいか。そんな期待を抱いた五輪だった。